

新光サザンアジア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、中国ならびに東南アジアの株式に投資する投資信託証券に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年1月28日～2025年7月25日

第31期	決算日：2025年7月25日	
第31期末 (2025年7月25日)	基準価額	10,195円
	純資産総額	1,778百万円
第31期	騰落率	8.6%
	分配金合計	400円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

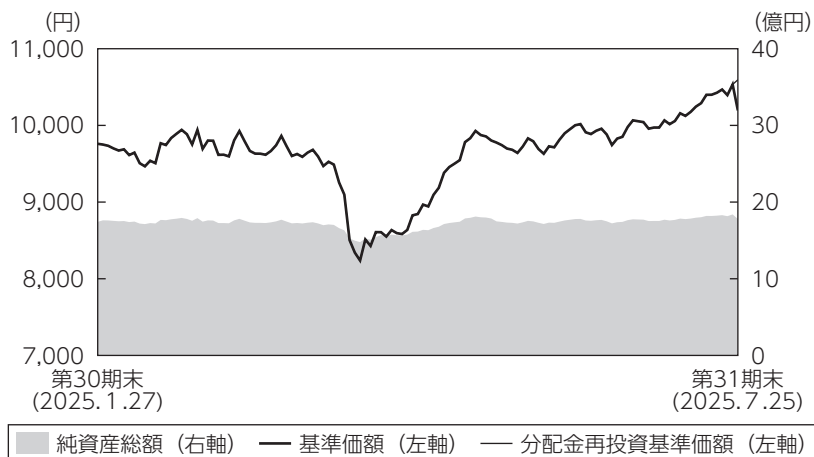
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第31期首： 9,760円
 第31期末： 10,195円
 (既払分配金400円)
 騰落率： 8.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは中国（主として香港、マカオなどの華南地域[※]）のサービス分野に関連する企業の株式に投資する投資信託証券（新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド、以下、「マザーファンド」といいます。）、ならびに東南アジア（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムなど）の株式に投資する投資信託証券（TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド、以下、「東南アジアファンド」といいます。）を主要投資対象としています。

当期の中国・香港株式市場は上昇しました。中国のAIモデルであるDeepSeekが発表されたことを受けて中国AIへの期待が高まったことや、期後半の米中関税交渉進展への期待が上昇要因となりました。為替市場において香港ドルが円に対して下落（円高）したものの、情報技術・金融・コミュニケーションサービスセクター等における保有銘柄の株価が大幅上昇したことから、マザーファンドの基準価額は上昇しました。

当期の東南アジア株式市場は上昇しました。米国の相互関税が発表された直後に株式市場は世界的に調整しましたが、悪材料の出尽くしと関税交渉の進展を受けて、世界の株式市場は徐々に値を回復し、域内株式市場も前期末対比上昇しました。一方当期の東南アジアファンドの基準価額は、為替市場で域内大半の通貨が円に対して下落した（円高となった）ことなどを主因に、前期末の水準から下落しました。

※華南地域とは、当ファンドでは香港、マカオおよび中国南部の広東省、海南省、福建省を指します。

1 万口当たりの費用明細

項目	第31期		項目の概要
	(2025年1月28日 ～2025年7月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	67円	0.699%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,645円です。
(投信会社)	(27)	(0.285)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(36)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.037	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(4)	(0.037)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	3	0.035	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.035)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.022)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	77	0.796	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

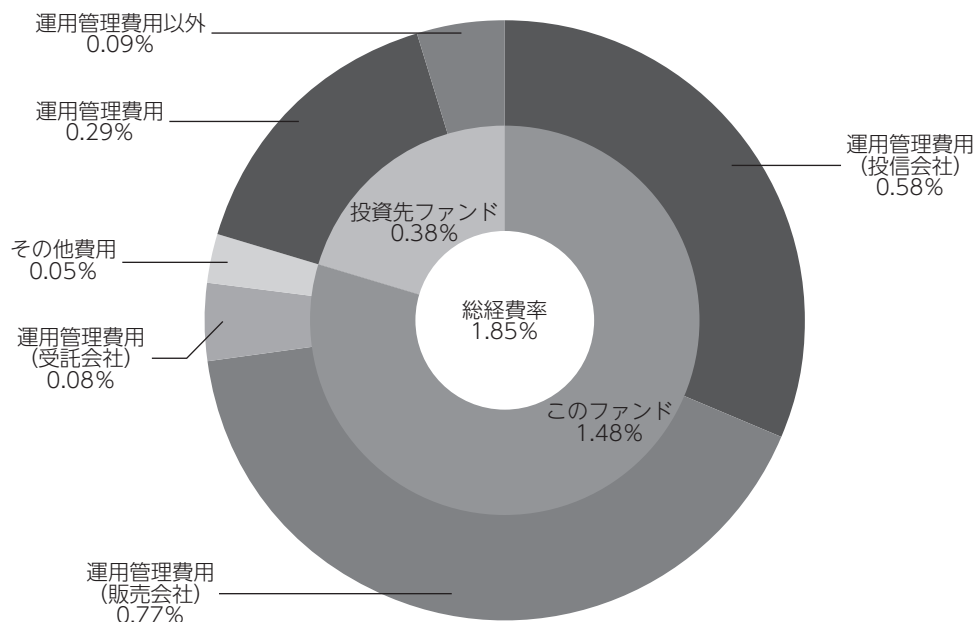
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②+③)	1.85%
①このファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

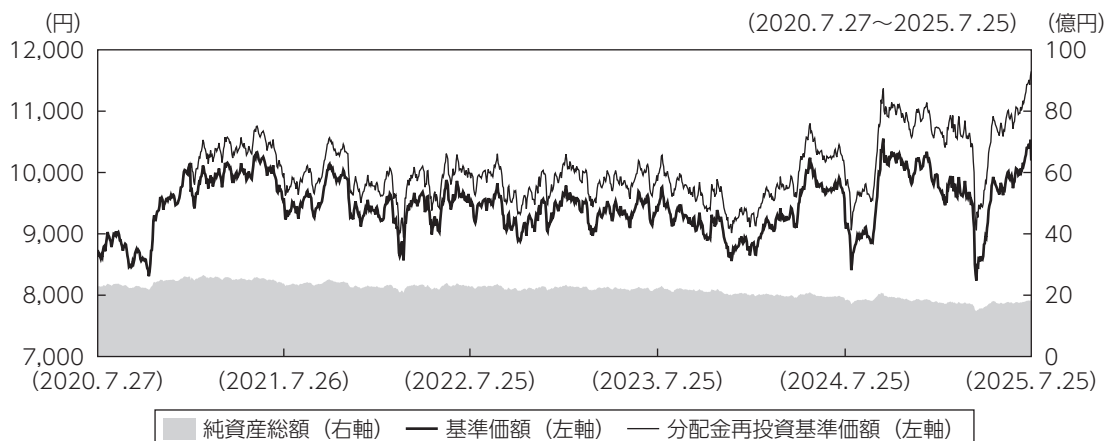
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 投資先ファンドはキャピタル・ゲイン税を含みません。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年7月27日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年7月27日 期首	2021年7月26日 決算日	2022年7月25日 決算日	2023年7月25日 決算日	2024年7月25日 決算日	2025年7月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	8,737	9,581	9,522	9,367	9,204	10,195
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	410	60	40	210	600
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.3	0.0	△1.2	0.5	17.5
純資産総額 (百万円)	2,305	2,385	2,282	2,212	1,832	1,778

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

当期の中国・香港株式市場は上昇しました。期初から2025年3月にかけては中国のAIモデルであるDeepSeekが発表されたことをきっかけに中国AIへの期待が高まり、インターネットやテクノロジー株にけん引され上昇しました。また、全国人民代表大会で強気の経済成長目標が発表されたこともプラスの材料となりました。2025年4月は米トランプ大統領による相互関税と、中国による報復関税の発表を受けて一時急落しましたが、それ以降は関税交渉に対する楽観的な見方が広がり株価は回復しました。中国政府は、関税リスクに備える国内景気対策として、消費振興策や金融支援策等を打ち出しました。

当期の東南アジア株式市場は上昇しました。期前半は米国の相互関税に対する警戒感から、域内株式市場はおおむね横ばいで推移しました。2025年4月上旬の米国の相互関税発表直後には株式市場は世界的に調整しましたが、悪材料の出尽くしと関税交渉の進展を受けて、世界の株式市場は徐々に値を回復し、域内株式市場も前期末対比上昇しました。個別市場では、米国の関税による貿易などへのダメージが相対的に少ないと見做されたシンガポール市場や、米国との関税交渉で早期合意に至ったベトナム市場が大きく上昇した一方、政情不安が再燃したタイ市場が下落しました。

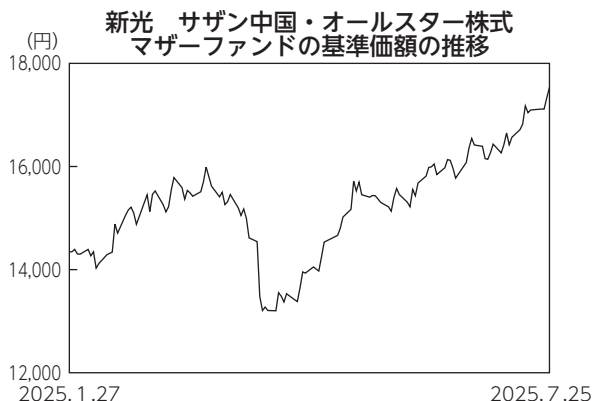
ポートフォリオについて

●当ファンド

当期は投資信託財産の中長期的な成長を目指して、マザーファンドおよび東南アジアファンドを概ね均等に保有し、主としてサービス分野に関連する企業の株式に実質的な投資を行いました。

●新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド

中国・香港の景気見通しと個別銘柄の業績に基づき入れ替えを行いました。中国AIの期待から上昇したテクノロジー株については一部利益を確定し、景気および株価動向を勘案して資本財と香港の不動産株の組入比率を削減しました。一方で中国景気が低迷するなかでも業績が安定するとみられるインターネットや消費関連銘柄の新規組入や積み増しを行いました。



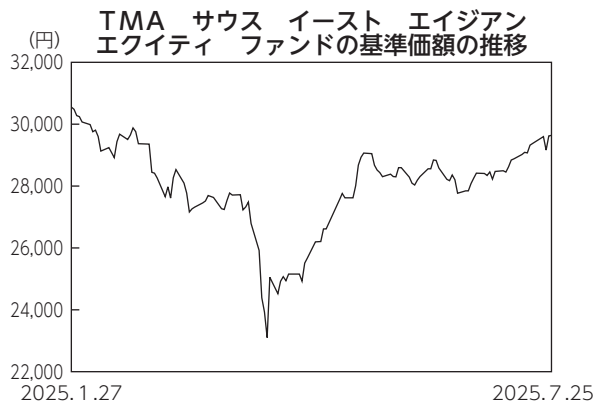
●TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド

<国別配分について>

相対的な魅力度や個別銘柄の投資判断との組み合わせから、フィリピン、ベトナムをオーバーウェイトにした一方で、シンガポールのアンダーウェイトを維持しました。期中にシンガポールのアンダーウェイト幅を縮小させたほか、インドネシアをオーバーウェイトからアンダーウェイトまで引き下げました。

<セクター配分について>

個人消費拡大の恩恵を受けると期待される一般消費財、半導体投資拡大の恩恵を受けると期待される情報技術、中期的な需要拡大が見込まれるヘルスケアのオーバーウェイトを維持した一方で、金融やコミュニケーションサービスのアンダーウェイトを継続しました、期中の動きについては、金融やコミュニケーションサービスのアンダーウェイト幅を拡大した一方、資本財のウェイトを引き上げました。



分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年1月28日 ～2025年7月25日
当期分配金（税引前）	400円
対基準価額比率	3.78%
当期の収益	400円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	569円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、マザーファンドおよび東南アジアファンドへの投資を通じて当ファンドの投資テーマである、サービス分野の発展に着目した運用を行う方針です。

●新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド

中国経済に関しては、経済指標の回復に時間を要しておりますが、中国政府は景気を安定化させる姿勢を見せており、今後も金融・財政両面における断続的な景気支援策が引き続き期待できると思われ、上下こそありつつも経済や企業業績が循環的な回復フェーズに入ることが期待されます。一方で、アジア周辺海域における様々な地政学的なリスクは依然として注視していくべき事柄であると考えております。当ファンドの運用ではそれらを注視しつつ、テクノロジーの進展や普及、それに伴う産業の構造変化、中間所得層の増加に伴う消費のアップグレードといった構造的な変化を捉え、好業績銘柄への重点投資を継続していく方針です。

●TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド

トランプ米政権が打ち出した相互関税の影響は、2025年後半に顕在化し始めると見られますが、当初懸念されたほど大きなインパクトにはならないといった楽観的な見方が台頭しつつあります。また、域内各国は中国からの製造拠点移転先候補として恩恵を得る可能性もあり、相互関税が域内各国経済にとって追い風となる可能性も指摘されています。中長期的には、労働人口の増加や可処分所得の上昇、信用拡大による個人消費拡大への期待や、旺盛な需要を背景としたインフラ投資などが域内の内需拡大に寄与すると考えており、東南アジア株式市場は域内の経済成長に支えられ、上昇基調を維持すると想定します。

当面のリスク要因としては、世界的な景気後退によって域内経済の成長が一時的に鈍化する可能性を想定しています。また、中国製AI（人工知能）モデルの登場が盛り上がりを見せた一方、米国主導での半導体市場の成長期待には疑問符が付きつつあり、その動向を注視する必要があると想定します。

ポートフォリオ構築にあたっては、東南アジア経済の大きなけん引力と考えるサービス分野、特に「交通・物流」、「娯楽・観光」、「都市生活」を重点投資分野とし、中期的な成長力が高く財務体質が健全で、業績透明度の高い銘柄を中心に組み入れを行う方針を維持します。2025年後半にかけての投資戦略としては、これまで通りファンダメンタルズ分析を重視した銘柄選択を継続するとともに、各国の政治・経済の状況を受けたトップダウン判断も加味する予定です。セクター別では、内需拡大による消費拡大の恩恵を受けると期待される一般消費財や、相互関税による生産拠点移転という追い風を受け、中期的な成長が期待される資本財や情報技術等のセクターにも注目しています。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

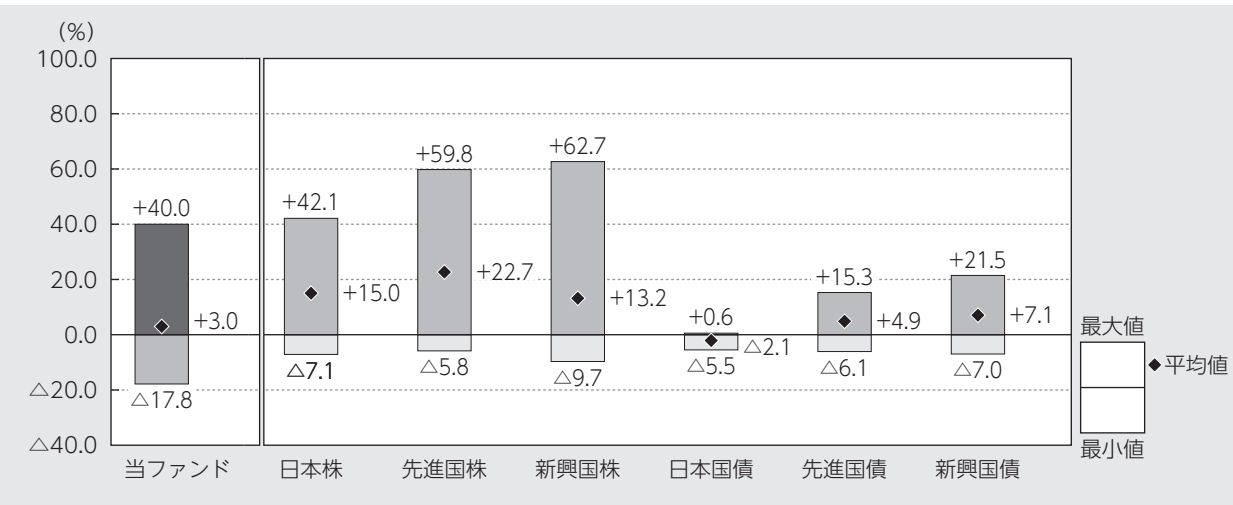
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	原則として、無期限です。	
運 用 方 針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光サザンアジア 株 式 フ ァ ン ド	投資信託証券
	新光 サザン中国・ オールスター株式 マ ザ ー フ ァ ン ド	主として中国（香港、マカオ、中国本土）のサービス分野に関連する企業の株式
	T M A サウスイースト エイジアン エクイティ ファンド	東南アジア諸国のサービス分野を中心とする企業の株式など
運 用 方 法	以下の投資信託証券を通じて、主として中国（香港、マカオ、中国本土）ならびに東南アジア諸国のサービス分野に関連する企業の株式に実質的な投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 内国証券投資信託（親投資信託） 新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド受益証券 ケイマン諸島籍外国投資信託 TMA サウスイースト エイジアン エクイティ ファンド（以下「東南アジアファンド」といいます。）円建受益証券 投資信託証券に含まれる外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。 東南アジアファンドへの投資にあたっては、東京海上アセットマネジメント株式会社から投資助言および情報提供を受けます。	
分 配 方 針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年7月～2025年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

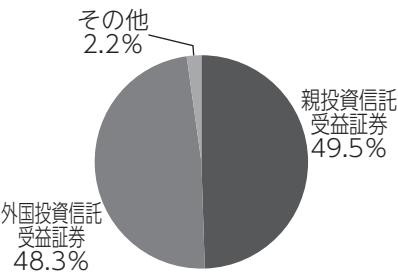
当ファンドの組入資産の内容（2025年7月25日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

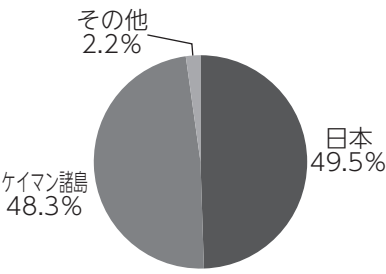
	当期末
	2025年7月25日
新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド	49.5%
TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	48.3
その他	2.2

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

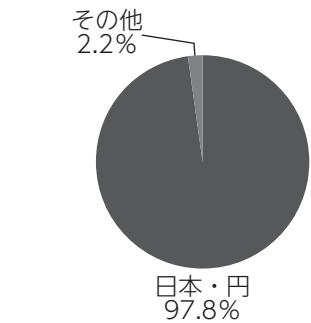
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。
(注3) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

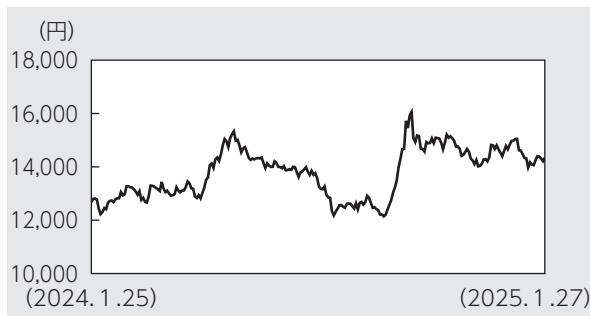
項目	当期末
	2025年7月25日
純資産総額	1,778,904,730円
受益権総口数	1,744,887,918口
1万口当たり基準価額	10,195円

(注) 当期中における追加設定元本額は98,431,302円、同解約元本額は138,011,790円です。

組入ファンドの概要

【新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド】（計算期間 2024年1月26日～2025年1月27日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

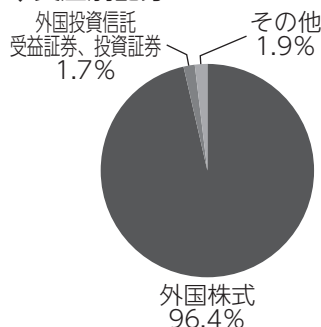
銘柄名	通貨	比率
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港・ドル	8.2%
AIA GROUP LTD	香港・ドル	7.9
TECHTRONIC INDUSTRIES CO	香港・ドル	6.5
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.0
SUN HUNG KAI PROPERTIES	香港・ドル	4.9
BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	香港・ドル	4.0
TENCENT MUSIC ENTERTAINMENT GROUP ADR	アメリカ・ドル	3.7
CHINA STATE CONSTRUCTION INT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.6
CHINA COMMUNICATIONS SERVICES	香港・ドル	3.3
HENDERSON LAND DEVELOPMENT	香港・ドル	3.2
組入銘柄数	34銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

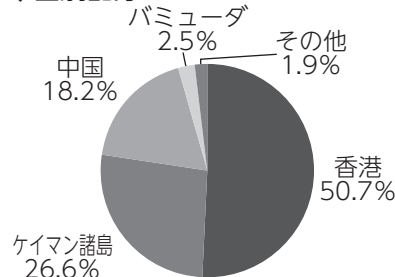
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	12円	0.091%
(株式)	(12)	(0.089)
(投資証券)	(0)	(0.001)
(b) 有価証券取引税	10	0.070
(株式)	(9)	(0.069)
(投資証券)	(0)	(0.001)
(c) その他費用	13	0.097
(保管費用)	(13)	(0.095)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	35	0.257

期中の平均基準価額は13,780円です。

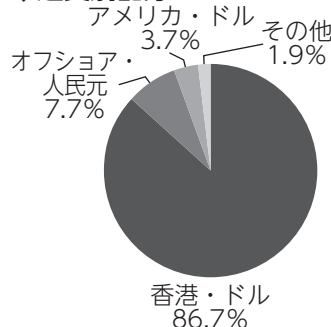
◆資産別配分



◆国別配分



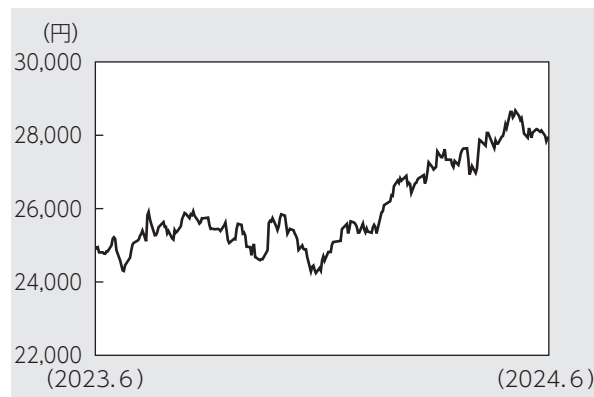
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 現金等はその他として表示しています。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド】（計算期間 2023年6月21日～2024年6月20日）

◆基準価額の推移



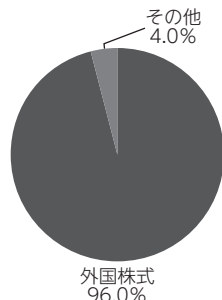
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SEA LTD- ADR	アメリカ・ドル	6.9%
OVERSEAS CHINESE BANKING CORP LTD	シンガポール・ドル	6.9
BANK MANDIRI TBK	インドネシア・ルピア	5.2
CP ALL PCL- NVDR	タイ・バーツ	4.4
FPT CORP	ベトナム・ドン	3.2
SM INVESTMENTS	フィリピン・ペソ	3.0
SEMBCORP INDUS	シンガポール・ドル	2.8
DBS GROUP HOLDING LTD	シンガポール・ドル	2.8
MEDIKALOKA HERMI	インドネシア・ルピア	2.8
UTD OVERSEAS BANK LTD UOB	シンガポール・ドル	2.7
組入銘柄数	42銘柄	

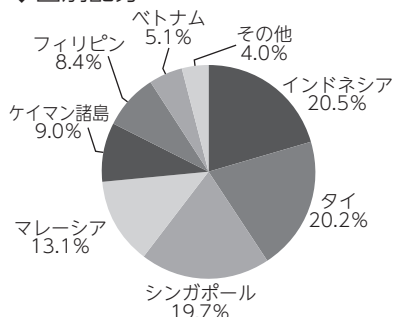
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

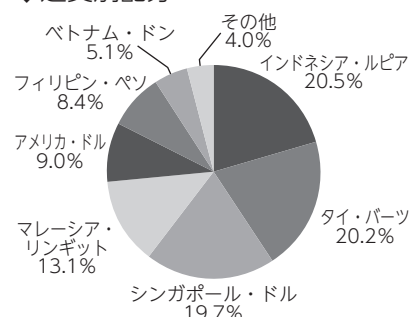
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はTMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの計算期間のものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はTMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は財務書類および東京海上アセットマネジメント株式会社のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

